



# 福生二中だより

No.1

令和8年4月10日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

## 励まし、寄り添う人でありたい

校長 平井 貞昭

満開の桜の中、今年7日に123名の新生を迎え、全校生徒がそろって令和8年度がスタートいたしました。保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学、御進級、誠にありがとうございます。

始業式と入学式の生徒の姿を拝見すると、一人一人、みなぎる自信と力にあふれ、そのオーラが伝わってきました。



4月は、学年が一つ上がり、一人一人が新たな気持ちで学校生活を始めようとしています。そしてこのタイミングで、新しいことを始めたり、今まで頑張れなかったことを頑張ろうとしたり、新しい友達と仲良くしようとしたり、今までの自分を変えようとしたりと何かを変えようとするお子様が多くいると思います。そのようなお子様を励まし、寄り添ってあげてほしいと思います。

新たな夢や希望をもっているけれど、うまくいかないことがあるかもしれません。そんな時は入学式でお話した下に載せてある「よかった探し」を御家庭でもしていただけると、また頑張れると思います。学校でも御家庭でもお子様を励まし、寄り添い応援し合える雰囲気ができれば、とても素晴らしいことです。

みなさんに、今日からぜひ取り組んでもらいたいことが一つあります。それは、「よかった探し」です。失敗したり、うまくいかなかったりすると、がっかりしたり、落ち込んだりしてしまうことがあると思います。でも、そんな時、「よかった探し」に取り組んでください。

この「よかった探し」とは、うまくいかない事が起こった時、そこから、「よかった」と思えることを「探す」ということです。

例えば、一生懸命勉強したけれど、テストでいい点が取れなかった。そのとき、「がっかり」するのではなく、そこから、「テスト前の勉強だけでなく、ふだんから、授業の復習をコツコツする必要があることが分かってよかった」とうまいかなくても、「よかった」ことを探してみる。これが「よかった探し」です。

起こった事は変えられません。でも、そこから次にどうするか考えることでその後の生き方は変えられます。そうすれば、きっと新たな未来が開け、君たちの人生が良い方に向かっていくと思います。

また、昨年度に引き続き、「魅力ある学校づくり」を推進していきます。具体的には

- ① 全ての生徒が活躍できる、学級や学年づくり
- ② 「楽しい」「頑張った」「分かった」と感じられる授業づくり
- ③ 「対話」を大切にした関係づくり

に重点をおき、生徒が夢や希望をもち、通いたくなるような「魅力ある学校」を目指します。

保護者の皆様ならびに地域の皆様におかれましては、引き続き本校に対する御理解と御支援をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。